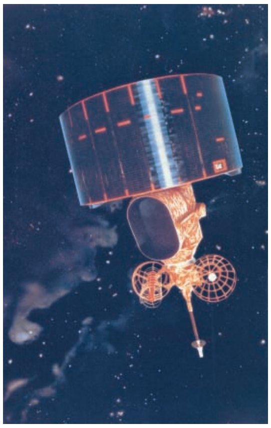
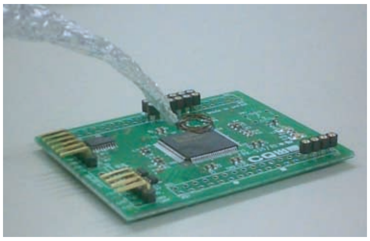
Design Wave MAGAZINE
デザイン ウェーブ マガジン

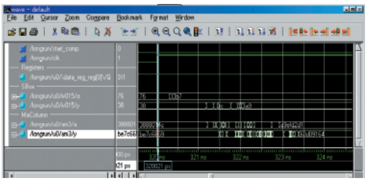
2006 February

CONTENTS





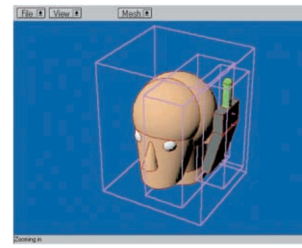




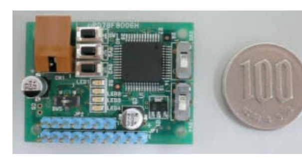
CONTENTS

Design Wave 設計コンテスト2006

講座



解説



Column

情報

今月の表紙
George Fullerのらせん状計算尺



計算尺は，電子計算機が登場するまで科学者や技術者にとって不可欠な道具の一つだった．1614年のJohn Napierによる対数の発見がもとになり，1632年にWilliam Oughtredによって最初の計算尺が考案された．1878年，アイルランドのGeorge Fullerは4けたの有効数字（計算精度4）を実現した計算尺を発明した．構造をらせん状にすることにより，計算精度を上げるために必要な尺の長さを確保している．ロンドン科学博物館所蔵（1880年製）．

編集 中山俊一/西野直樹/山縣妙子/谷 智美/野村英樹
広告 佐藤英司/藤原悌子
Art Direction&Design クニメディア（株）
笹沢記良/鈴木亮太/菊池篤賜/新井秀昭
本文イラスト 佐藤デザインルーム 佐藤 重/鎌田 聡
表紙デザイン AD（株）グラムシ/田中智康/菊地博則
PHOTO ©Science Museum/SSPL/AFLO

デバイスの記事（集積回路，電子部品など）
ボードの記事（PCB，モジュール，ノイズなど）
システムの記事（組み込み機器，ソフトウェアなど）
本誌Webサイトに関連データあり
ビギナーズ向けの記事

講座「ここから始めるアナ-ディジ混載設計」，「システムLSI検証技術入門」はお休みさせていただきます．